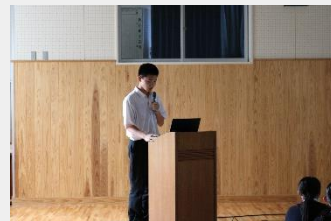


第1回理数科集会

7月4日

年に2回全学年理数科6クラスで集会を行っています。各クラスの代表が自分の経験したことや興味あることを自由に発表します。



- 司会：3年 山田 雄介(引野中学校)
 3年 相良 美海(飛幡中学校)
- 「MY STEPS」
 2年 稲光 徠咲(浅川中学校)
- 「言語の世界」
 2年 西鶴 歩真(湯川中学校)
- 「最近のHOT な話題&写真講座」
 3年 川島 昊輝(花尾中学校)
- 「みんなの知らないガンダムの世界」
 3年 豊野 直 (板橋中学校)

教科科目横断型授業(3年生)

7月18日

「天体と神話」
 「宇宙探査からわかる地球外生命存在の可能性」
 化学、地学 大野先生・英語 松尾先生 レスリー先生



放射線セミナー(3年生)

7月7日

放射線セミナーは、毎年3年生が受講し、実験や実習を通して放射線に関する知識を学んでいます。放射線の基礎知識に関する講義や特殊な装置を使用した実験・学校内の放射線の計測などを行いました。

「放射線に関する基礎的知識」
 九州大学大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門
 助教 執行 信寛 先生



- 実習1 霧箱による放射線の観察
 実習2 バックグラウンドの測定
 実習3 距離の逆二乗則
 実習4 自然放射線の測定



放射線と聞くと、危険なものであるというイメージが強かったが、今日の講義を通して、放射線がいかに身近にあるのかということや、私達にとってメリットとなる使い方があるということを知った。こんぶやほうれん草、ポテトチップスなどの食べ物から放射線が出ていたり、宇宙や大地からの放射線を私達は日々浴びていたり、自分と放射線の意外な関連性にとっても驚いた。放射線にまつわる実習は、確かに難しい内容だったけれど、先生方の丁寧な解説のもと理解することができて、充実した時間を過ごせた。とても貴重で楽しい時間だった。
 3年 友岡 ひかり(高見中学校)

放射線にはいくつか種類があって、人体に悪い影響を及ぼすものだと思っていたが、本当は世の中のどこにでもあって、少量では特に人体に影響は無いことを知って驚きました。正直、錬金術なんてアニメやマンガの世界の話だろうと思っていたのですが、鉛と水素を高速でぶつけたことで金を生成したという実験結果を見てファンタジーが現実に!?とわくわくしました。実習では、放射線の様子を観察したり、放射線の性質を調べたりして、より身近なものに感じることができました。普段経験できないようなことができて楽しかったし、実験の楽しさや面白さを改めて実感しました。
 3年 藤井 こころ(中央中学校)

今日の放射線セミナーで、今までただ漠然としていた放射線のイメージが瞭然となった。目に見えず、においもしない、味もしない、もちろん触れない。そんな放射線の実態を様々な方法で確認することができた。放射線の定義は思っていたよりも広く、私達は毎日、常に被爆していることを知った。個人的に「現代の錬金術」という鉛ビームを水素に衝突させることで、複数の金属を生成し、その中には金もあったという実験がとて印象に残った。これからは、放射線について考えながら生活してみようと思った。
 3年 川島 昊輝(花尾中学校)



今日の講義を受けるまでは放射線はとて危険なもので、私達にはあまり縁がないものだと思っていました。しかし、ホウレン草やこんぶなど私達が日常生活で普通に食べている食材に入っているということにとっても驚きました。また、実習では自分達で放射線が多い場所を探したり、飛行機雲のように見える放射線の軌跡をスポンジ、コルク、エタノール、ドライアイスといういつでも手に入る身近なもので作ることができて、とても楽しかったです。放射線を遮ることができるのか、測定距離によって放射線量がどのくらい変わるかなど、自分の予想と結果が全然違って驚くことばかりでした。
 3年 本多 美貴(尾倉中学校)